

平成30年9月20日
宿毛漁業指導所

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、環境調査と並行し、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるシャトネラ マリナ^注が最大0.05細胞/ml確認されました。当プランクトンは他の赤潮原因プランクトンに比べ、低塩分・弱光下でも増殖可能なことが報告されています。そのため現在の細胞数は少ない状態ですが、天候の状況によっては細胞数が急激に増加し、被害が発生する可能性も考えられるため、今後の海色や飼育魚の状態を注視し、飼育魚にストレスがかからないよう十分注意してください。

またアカシオ サンガイネアが最大0.2細胞/ml、プロロセントラム属が最大0.15細胞/ml確認されました。これらのプランクトンは基本的には無害ですが、細胞数が急激に増加すると周囲を貧酸素状態にし、魚介類を弱らせてしまう可能性があります。

また麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大0.48細胞/ml確認されました。

本日の調査においては、全調査地点にてケイ藻類が確認されました。他県の観察結果によるとケイ藻類の増加が見られた後に、有害赤潮プランクトンの増殖が確認された例もありますので、注意をお願いします。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	シャトネラ マリナ	アカシオ サンガイネア	プロロセントラム属	アレキサンドリウム属
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)				
片島(別図⑦) 採水時間 10:26 透明度 4 m	3.0	26.6	32.9	5.7	0.01	0.04	0.04	0
宇須々木 採水時間 10:37 透明度 8 m	5.0	26.4	33.1	6.0	0.05	0	0.03	0
藻津①(別図⑨) 採水時間 10:42 透明度 5 m	5.0	26.4	33.2	6.3	0	0.01	0	0
真珠 採水時間 10:52 透明度 9 m	5.0	26.5	33.1	6.5	0	0.01	0.03	0.48
大島中央①(別図⑤) 採水時間 10:59 透明度 9 m	5.0	26.4	33.2	5.6	0.01	0	0.01	0.09
小筑紫中央①(別図⑬) 採水時間 11:04 透明度 10 m	4.0	26.5	33.2	6.4	0	0	0.03	0